

報告

2008 年度支部活動報告

北海道支部 佐野康男（名寄市立木原天文台）

関東支部 飯塚礼子（日食情報センター）

近畿支部 成田 直（豊能町立吉川小学校）

1. 北海道支部

1.1 2008年度活動報告

2008年の活動として、北海道支部例会開催は主催者の都合もあり開催できなかった代わりに2008年2月14日に札幌市で天文教育普及研究会の共催として開催された、「北海道天体観測者会議」では、会員が集まり実質的に支部例会となりました。

(1) 北海道道天体観測者会議

日 時：2008年2月14日（土）午後2時～

15日（日）午前10時まで

場 所：札幌市北海道電力北2条クラブ

参加者：16人

発表内容：

- ・「2008年に撮影した彗星とビクセン赤道儀」 柴田健一
- ・「外付け式冷却デジカメの作成1」 後藤博志
- ・「天文用ビデオカメラの制作」 生田 盛
- ・「新しく建設される名寄の天文台」 佐野康男
- ・「新システムで再発見した激変光星」 佐野康男
- ・「月のある風景写真」 中山 正

結果：5名による研究発表が行われ、北海道の天文普及活動について議論いたしました。

1.2 2009年度活動予定

北海道支部の会員に呼びかけを促し年度内に支部例会を実施したいと考えています。

2. 関東支部

2.1 2008年度活動報告

2008年関東支部では2回の集会を行いました。

第1回目は2008年12月21日（日）科学技術館シンラドーム（東京都千代田区）を会場とし「3D、4Dを生かした天文教育・普及」のテーマのもと関連講演と一般講演および、全天周立体視施設のシンラドームの見学を行いました。

【テーマ関連講演】

- ・「科学ライブショーユニバースとシンラドームの意義」 半田利弘（東京大学）
- ・「科学ライブショーユニバース特別編」 半田利弘+ちもんず
- ・「シンラドームの現状とこれから」 高幣俊之（オリハルコンテクノロジーズ）
- ・「シンラドームのハードウェアシステム」 奥野 光（日本科学技術振興財団）

【一般講演】

- ・「2009年7月22日の日食観測の動向について」 石井 馨（日食情報センター）
- ・「百件と一見～”実感太陽系”を例に」 半田利弘（東京大学）
- ・「触察資料と言葉で宇宙を楽しむ—〈科学ヘジャンプ・サマーキャンプ2008〉での試み」 藤原晴美
- ・「職員室にて」 佐藤明達
- ・「天プラにお願い」 佐藤明達

第2回目は2009年1月18日(日)立教大学池袋キャンパス(東京都豊島区)を会場とし世界天文年イベント紹介を中心に発表が行われました。

【講演】

- ・「ガリレオ・ガリレイの時代とその功績」
矢島道子
(東京医科歯科大学教養部・非常勤講師)

【世界天文年イベント紹介】

- ・「世界天文年企画概要」
半田利弘(東京大学)
- ・「君もガリレオ」プロジェクト
縣 秀彦(国立天文台)
- ・「部分日食を観察しよう」
縣 秀彦(国立天文台)
- ・「アジアの星の神話・伝説」プロジェクト
矢治健太郎(立教大学)
- ・「世界天文年2009巡回企画展 ガリレオの天体観測から400年・望遠鏡が切り開いた宇宙(仮称)」
洞口俊博(国立科学博物館)
- ・「世界天文年参加・実施マニュアル紹介」
天文教育普及研究会世界天文年WG

【議論】(パネルディスカッションスタイル)

- 「IYA2009:どんな活動でどんなメッセージを社会に投げかけていくか？」
水野孝雄、半田利弘、飯塚礼子、鈴木隆之

【一般講演】

- ・「小型軽量分光器の製作と活用」
直井雅文(埼玉県立越谷北高等学校)
- ・「太陽関係」 鷹 宏道(平塚市博物館)
- ・「理科離れ対策の盲点—天文教育における必要十分条件」 佐藤明達
- ・「国際科学映像祭 ドーム&立体プレイベント2009」
伊東昌市、縣 秀彦、
中山弘敬、平井 明(国立天文台)

2.2 2009年度活動予定

来年の年会を関東支部で行いますので年会委員を集い関東支部と連携して活動を行います。関東支部の集会は年会と絡めて進めて行く予定で前年と同様2回程企画します。また、関東支部会員の声を広く聞ける場として関東支部委員会のメーリングリストを検討します。

3. 近畿支部

3.1 2008年度活動報告

(1) 支部集会

日 時：2009年3月28日(土)
13:30~19:00
会 場：大阪市立科学館(大阪市北区)
参加者：31名 講演、発表等：11件

夏の年会に向けての準備集会と位置づけ、年会テーマ「宇宙の魅力～語り伝えるのはあなた」に向かうための支部会テーマ『「宇宙の魅力～語り伝えるのはあなた」への道』を掲げて議論を深めました。また、終了後にはオプションとして公開前の全編CG動画を使って再現した科学ドキュメンタリー全天周映像HAYABUSAの試写会を行いました。

発表内容：

- ・「新学習指導要領 小学校天文教育で何ができる」
西村一洋(枚方市立樟葉西小学校)
- ・「新学習指導要領 中学・高校の場合」
有本淳一(京都市立塔南高等学校)
- ・「天文教育普及活動全国調査～若手からみた「現在」の天教と「次へのステップ」その後」 塚田 健
(姫路市宿泊型児童館「星の子館」)
- ・「視覚障がい者向け天文教育の一試みについて」 久部幸次郎
(関西学院大学文学部非常勤講師)
- ・「デジタル動画を用いた天文学の教育普及 2.望遠鏡の組立・分解の動画教

- | | | | |
|-------------------------------------|---|--------|------|
| 材」 | 渡辺謙仁（大阪教育大学） | 北海道支部長 | 佐野康男 |
| ・「大阪府教育センターにおける天文教育」 | 榊井俊彦 | | |
| | （大阪府教育センター・理科第二室） | 関東支部長 | 飯塚礼子 |
| ・「サイエンスデザインに基づいた天体色彩学」 | 芝田たける（大阪教育大学） | | |
| ・「宇宙と生命の起源をテーマにした高校 1 年生の理科」 | 渡會兼也（金沢大学附属高等学校） | 近畿支部長 | 成田 直 |
| | ・「小学校教員養成課程における非理科学系学生向けの理科専門授業」 | | |
| | 松本桂（大阪教育大学・天文学研究室） | | |
| ・「昼間、教室で実験観察、実習をして体感理解の星学習 4 年生の場合」 | 山田幹夫（香川県政策部政策課委嘱サイエンスボランティア） | | |
| ・「天文教育の世界天文年特集について」 | 作花一志（京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院） | | |
| ・CG 全天動画「HAYABUSA」 | http://hayabusa-movie.jp/ | | |

(2) 第 2 回 “宇宙（天文）を学べる大学” 合同進学説明会（近畿地区）

日 時：2009 年 6 月 14 日（日）

10:30～16:00

会 場：大阪市立科学館（大阪市北区）

共 催：大阪市立科学館

参加大学：16 校 参加者：20 名

3.2 2009 年度活動予定

支部会は 2 回の実施を予定しており、1 回は冬に和歌山大学で、もう 1 回は未定です。和歌山大学では、“IYA は終わっても天文教育普及は多角的に続く” という考えを共有することをテーマとして開催したいと思っています。